

審判主任	試合場主任	検査所責任者

剣道用具確認証

一般財団法人 長野県剣道連盟会長 殿

本大会の出場にあたり、使用する用具について、「剣道試合・審判規則」および「大会要項」に
即し、下記項目の確認いたしました。

日 付： 年 月 日

所 属： _____

氏 名： _____ 印

記

1) 竹刀関連：検査本数： 合計 _____ 本（大会検査所提出本数）

- ☐ 柄革に名前の明記がある
- ☐ 長さ（全長）が適正
- ☐ 重さが適正
- ☐ 先端から 1.5 センチメートル部分の先革の太さ（対辺）が適正
- ☐ 先端から 8 センチメートル部分のちくとうの太さ（対角）が適正
- ☐ 先革の長さが適正
- ☐ 中結の位置（＝全長の約 1/4）が適正
- ☐ 破損・ささくれはない
- ☐ 不当な付属品を使用していない
- ☐ 先端部をちくとうの最も細い部分とし、先端から物打にむかってちくとうが太くなっている
- ☐ 安全性を著しく損なう加工・形状変更をしていない
- ☐ ピース（四つ割りの竹）の合わせの間に不自然で大きな隙間がない

2) 小手関連

- ☐ こぶしと前腕（肘関節から手首関節の尺骨側（最長部））の 1/2 以上を保護している
- ☐ 小手ぶとん部のえぐり（クリ）の深さは小手ぶとん部最長部と最短部の差が 2.5 センチメートル以内である
- ☐ 小手頭部・小手ぶとん部の十分な衝撃緩衝能力がある

3) 面関連

- ☐ 肩関節の保護ができる布団の長さが確保されている
- ☐ 面ぶとんの十分な衝撃緩衝能力がある

4) 剣道着関連

- ☐ 袖の長さについて、肘関節の保護ができる（構えたときに肘関節が隠れること）

以上

※大会の竹刀検査所に竹刀の検査と同時に提出してください。

※剣道用具確認証の □ の欄にチェック（☒）をしてください。